

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「日本好配当割安株オープンⅡ（愛称 竹取物語）」は、このたび、第18期の決算を行いました。

当ファンドは、日本好配当割安株オープンマザーファンドの受益証券を主要投資対象とし、投資信託財産の成長を図ることを目標に積極的な運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第18期末(2015年2月23日)

基準価額	8,905円
純資産総額	499百万円
第18期	
騰落率	10.3%
分配金(税込み)合計	0円

(注)騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注)純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

ホームページの「ファンド一覧」等から当ファンドのファンド名称を選択することにより、「ファンド詳細」ページにおいて運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

日本好配当割安株オープンⅡ (愛称 竹取物語)

追加型投信／国内／株式

作成対象期間：2014年8月26日～2015年2月23日

交付運用報告書

第18期(決算日 2015年2月23日)

 **岡三アセットマネジメント**

〒104-0028 東京都中央区八重洲2-8-1

お問い合わせは弊社カスタマーサービス部へ
フリーダイヤル ☎0120-048-214 (営業日の9:00～17:00)

[ホームページ]

<http://www.okasan-am.jp>

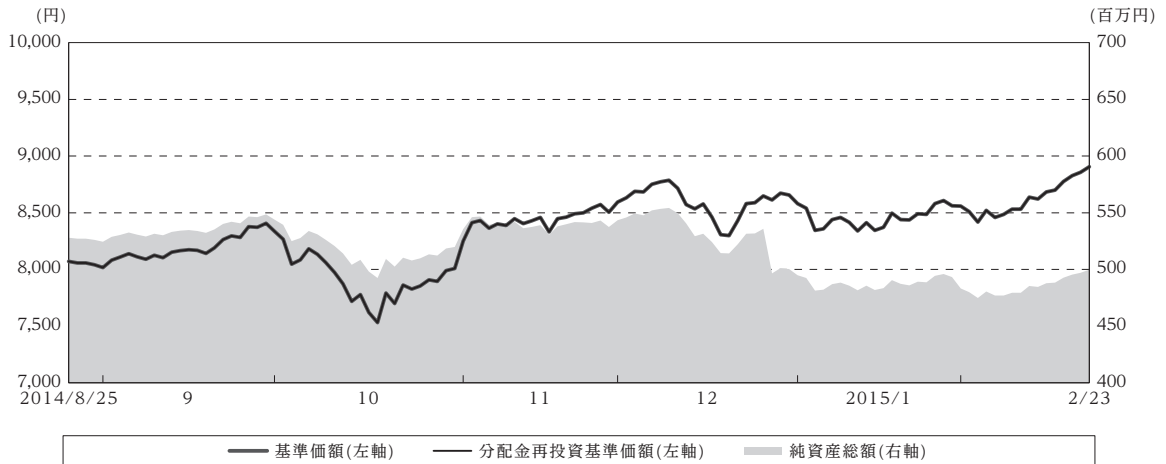
※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。
※機種により本サービスをご利用いただけない場合があります。



運用経過

期中の基準価額等の推移

(2014年8月26日~2015年2月23日)



期 首：8,071円

期 末：8,905円(既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：10.3%(分配金再投資ベース)

(注)分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注)分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注)分配金再投資基準価額は、期首(2014年8月25日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注)上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

(主なプラス要因)

主要投資対象である「日本好配当割安株オープン マザーファンド (以下マザーファンド)」における主なプラス要因は以下の通りです。

- ・業種配分では、卸売業、化学、輸送用機器などが基準価額にプラスに寄与しました。
- ・個別銘柄では、ユアサ商事、トヨタ自動車、アステラス製薬などが基準価額にプラスに寄与しました。

(主なマイナス要因)

主要投資対象であるマザーファンドにおける主なマイナス要因は以下の通りです。

- ・業種配分では、石油・石炭製品、陸運業、その他製品などが基準価額にマイナスに寄与しました。
- ・個別銘柄では、昭和シェル石油、三井物産、住友商事などが基準価額にマイナスに寄与しました。

（2014年8月26日～2015年2月23日）

1万口当たりの費用明細

項 目	当期		項目の概要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	68	0.808	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(31)	(0.378)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(32)	(0.376)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(5)	(0.054)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	14	0.171	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株式)	(14)	(0.171)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用	0	0.005	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	82	0.984	
期中の平均基準価額は、8,388円です。			

(注)期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注)各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注)売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注)各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（2010年2月23日～2015年2月23日）

最近5年間の基準価額等の推移



(注)分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注)分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注)分配金再投資基準価額は、2010年2月23日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2010年2月23日 期初	2011年2月23日 決算日	2012年2月23日 決算日	2013年2月25日 決算日	2014年2月24日 決算日	2015年2月23日 決算日
基準価額 (円)	5,168	5,601	5,157	6,241	7,500	8,905
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	8.4	△7.9	21.0	20.2	18.7
TOPIX(東証株価指数)騰落率 (%)	—	4.4	△12.4	18.2	24.3	23.3
日経平均株価(225種)騰落率 (%)	—	2.2	△9.3	21.5	27.2	24.5
純資産総額 (百万円)	1,031	920	676	565	546	499

(注)上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注)純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注)騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

(注)TOPIX(東証株価指数)、日経平均株価(225種)は当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。

投資環境

(2014年8月26日～2015年2月23日)

国内株式市場は、米長期金利の上昇を背景とする円安の進行などを好感し、2014年9月下旬にかけて上昇しました。その後は、世界景気見通しの下方修正などを受けて一時的に下落する場面もありましたが、円安による企業業績の上方修正期待や大手公的年金の国内株式投資比率拡大への期待などから、株式市場は総じて上昇基調で推移しました。10月末に日銀が決定した追加金融緩和策が市場の予想を上回る内容であったことから、その後株式市場は上値を追う展開となりました。12月後半以降は原油安や欧州政情不安などを受けてもみ合いましたが、2015年2月上旬以降は原油価格の反発や欧州政情不安後退を背景に上値を試す展開となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2014年8月26日～2015年2月23日)

当ファンドの運用はマザーファンドを通じて行っております。

マザーファンドの運用につきましては、利益および配当の持続的な成長が見込まれる割安銘柄を選別し、投資しました。

原油価格が下落したため、卸売業や石油・石炭製品などの組入比率を大幅に引き下げる一方、付加価値の高い電子材料の需要拡大による好業績が期待できる化学の組入比率を引き上げました。

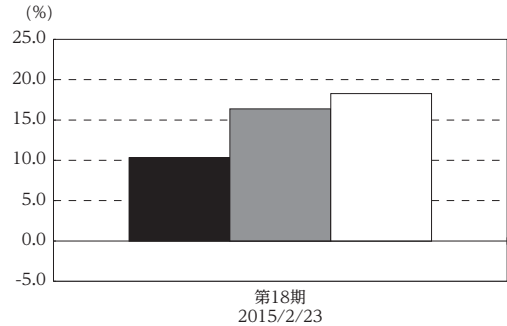
大型株が選好される傾向があったため、銘柄数を大幅に減らし、大型株の組入比率を引き上げました。

(2014年8月26日~2015年2月23日)

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

基準価額と参考指数の対比(期別騰落率)



■ 基準価額 ■ TOPIX(東証株価指数) □ 日経平均株価(225種)

(注)基準価額の騰落率は分配金(税込み)込みです。

(注)参考指数は、TOPIX(東証株価指数)、日経平均株価(225種)です。

(2014年8月26日～2015年2月23日)

分配金

毎年、2月23日および8月23日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。

繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収入と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収入には、マザーファンドの利子・配当等収入のうち、投資信託財産に帰属すべき利子・配当等収入を含むものとします。基準価額が当初元本を超えている場合には、分配後の基準価額が当初元本程度となることを目処に分配金額を決定します。

当期につきましては、基準価額水準等を勘案のうえ、収益分配を見送らせていただきました。

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第18期
	2014年8月26日～2015年2月23日
当期分配金	－
（対基準価額比率）	－%
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	705

(注)対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注)当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

国内株式市場は、上昇トレンドにあると考えております。日銀による緩和的な金融政策や政府の経済対策により国内景気の回復が期待されるほか、円安などを背景に企業業績の改善が続くと見込まれることが株式市場をサポートすると考えております。また、日銀によるETF買入れ額の拡大や年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）の国内株式への投資比率拡大計画などが、需給面で株式市場を支えることが期待されます。当ファンドの運用は「日本好配当割安株オープン マザーファンド（以下マザーファンド）」を通じて行っております。

マザーファンドの運用につきましては、収益性、成長性、業績変化率等から割安と判断され、株価の上昇が期待できる銘柄へ投資します。

定量的スクリーニング（業績動向、配当利回り、PERなど）により割安度を判断するとともに、リサーチによるスクリーニング（企業の競争力、株主還元策、配当政策など）を行い、財務の健全性、流動性を考慮のうえ投資銘柄を決定します。

組入れ株式全体の予想配当利回り（加重平均）が市場平均（加重平均、今期予想ベース）を上回るようポートフォリオを構築します。

お知らせ

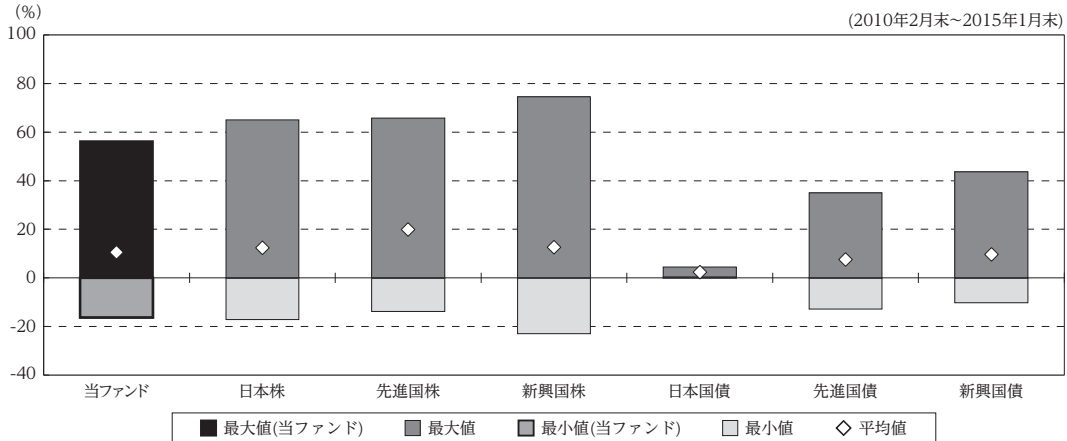
法令諸規則の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。（実施日：2014年12月1日）

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／国内／株式	
信託期間	2006年3月8日から、原則として無期限です。	
運用方針	日本好配当割安株オープン マザーファンドの受益証券を主要投資対象とし、マザーファンドを通じて、わが国の金融商品取引所上場株式に投資し、投資信託財産の成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	日本好配当割安株オープン マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	日本好配当割安株オープン マザーファンド	わが国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要対象とするファミリーファンド方式で運用を行います。
	日本好配当割安株オープン マザーファンド	収益性、成長性、業績変化率等から割安と判断され、株価の上昇が期待できる銘柄へ投資します。 定量的スクリーニング（業績動向、配当利回り、P E R など）により割安度を判断するとともに、リサーチによるスクリーニング（企業の競争力、株主還元策、配当政策など）を行い、財務の健全性、流動性を考慮のうえ投資銘柄を決定します。 組入れ株式全体の予想配当利回り（加重平均）が、市場平均（加重平均、今期予想ベース）を上回るようポートフォリオを構築します。
分配方針	毎年、2月23日および8月23日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき収益分配を行います。 基準価額が当初元本（受益権1口当り1円。以下、同じ。）を超えている場合には、分配後の基準価額が当初元本程度となることを目処に分配金額を決定します。ただし、分配可能額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。 基準価額が当初元本を下回っている場合には、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ分配金額を決定します。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	56.2	65.0	65.7	74.5	4.5	34.9	43.7
最小値	△16.3	△17.0	△13.6	△22.8	0.4	△12.7	△10.1
平均値	10.6	12.3	19.9	12.7	2.4	7.5	9.7

(注)全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注)2010年2月から2015年1月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注)上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注)当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス(配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注)海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2015年2月23日現在)

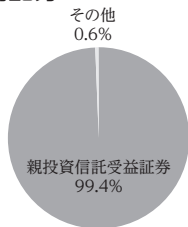
○組入上位ファンド

銘柄名	第18期末
日本好配当割安株オープン マザーファンド	99.4%
組入銘柄数	1銘柄

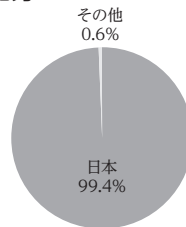
(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注)組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

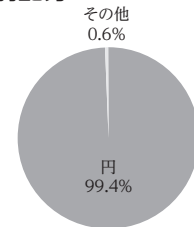
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注)国別配分につきましては発行国を表示しております。

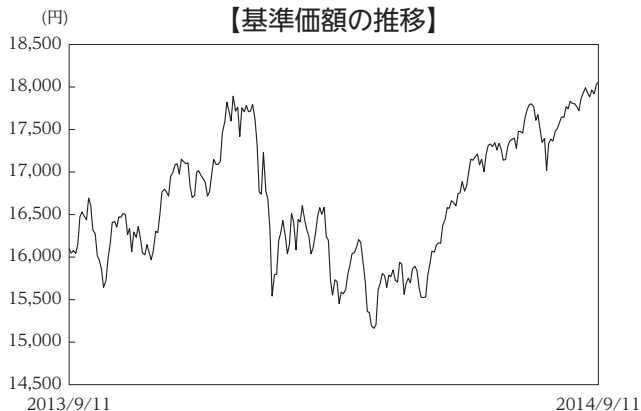
純資産等

項 目	第18期末
	2015年2月23日
純資産総額	499,820,232円
受益権総口数	561,294,326口
1万口当たり基準価額	8,905円

* 期中における追加設定元本額は7,717,627円、同解約元本額は100,509,948円です。

組入上位ファンドの概要

日本好配当割安株オープン マザーファンド



【1万口当たりの費用明細】

(2013年9月12日~2014年9月11日)

項 目	当 期
	円
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	81 (81)
合 計	81

(注)1.費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 売買委託手数料は、期中の金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

2.各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

3.単位未満は0と表示しています。

【組入上位10銘柄】

(2014年9月11日現在)

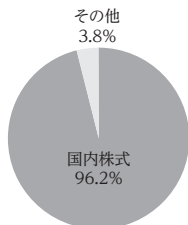
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	あおぞら銀行	銀行業	円	日本	4.1
2	大東建託	建設業	円	日本	3.6
3	アステラス製薬	医薬品	円	日本	3.1
4	三井物産	卸売業	円	日本	3.0
5	昭和シェル石油	石油・石炭製品	円	日本	2.7
6	ローソン	小売業	円	日本	2.7
7	セコム	サービス業	円	日本	2.6
8	国際計測器	精密機器	円	日本	2.4
9	トヨタ自動車	輸送用機器	円	日本	2.2
10	住友商事	卸売業	円	日本	2.2
	組入銘柄数		101銘柄		

(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

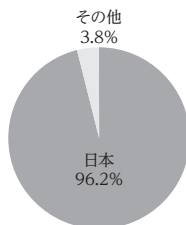
(注)組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注)国(地域)につきましては発行国を表示しております。

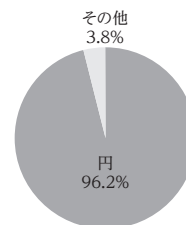
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注)国別配分につきましては発行国を表示しております。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書（全体版）をご覧ください。

〈代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について〉

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

○MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA - BPI国債

NOMURA - BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA - BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

○シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、Citigroup Index LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。

なお、シティ世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLC に帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。